

おわりに

◆ 6月議会で、私の活動原点である「福井豪雨災害の課題」のひとつが着手となり、「経緯をまとめて」「報告」とじっくり書いていたら、9月定例会が始まってしまいました。

そうでした。4月の選挙で知事が交代した関係で、6月定例会が後ろ倒しになり、終わったのが7月末…つまり、今議会との間がひと月ちょっとしかなかったのです。

定例会と定例会の間は何をしているのかというと、私の場合は、「県政報告を書いて発行↓県政報告会を行う」、「依頼のあるイベント出席や文書作成」、そして、視察、調査・研究などです。

この8月は、
・県外視察(佐賀大学など)
・県内視察(坂井市の農園)、
・都道府県女性議員の会研修(東京の里親の会、ドルトン学園)、
・越前市内で調査(農場の管理認証)
・講演会の聴講(人口減少問題など)
と、短期間でしたが、精力的に動き回っております。

私は、好奇心が強いのかなあ…いや、むしろ、じつとしてるのが怖いのです。なにしろ、多くの方々から負託をいただいた身ですから…。

細川かをり県政報告

第47号

教育博物館

6月に、地域の方々を県教育博物館にご案内しました。(元、春江工業高校)ここは、福井国体で来県された当時の天皇后両陛下が立ち寄られたところです。

教室風景のジオラマは人気満点。「これ、俺や!」と思えば話に花が咲きました。



一番人気「立たされ坊主」

◆ 豚コレラ発生によって、越前市では豚舎2か所の豚の殺処分が行われ、経営に大きな打撃を与えました。

山に近く、日頃から猪による農作物被害に苦慮している地域では「この際、豚コレラでイノシシが全滅すればいいのに。」
「どうして豚がすべて殺処分分、山のイノシシがワクチンで生き延びるのか、納得いかない。」

といった厳しい声飛び交います。「そんな極端な…」
と思いますが、実際に丹精込めて育てた豚や農作物をダメにされたらそうでしょう。誰が見ても私より優しい(らしい)夫もそうです。

田圃の周りには電気柵を張り巡らし、草が伸びて漏電するところがないように、早朝、会社に行く前に見回り、草刈りに汗を流しています。

それでも昨年、イノシシが田圃に入って稲がくちやくちや(臭くもありません)。

細川撮影 (↑!)



市議時代、ある議員から

「細川さんはよくイノシシの話をするけど、自分たちは街に住んでいるのでリアリティがない。」

と言われました。そういうものですね。実際に出会う出会わない、被害にあう合わないでは、評価がガラッと変わります。

今、豚コレラの対策を国に問うているところですが、大都市「東京」の役人や政治家は、中山間地や豚コレラの現場の実感をどれだけ持っていているのでしょうか。

政策決定のキーパーソンたちには、理屈や机上だけで判断するのではなく、ぜひ、現場に来て、感じて、考えて欲しいと強く思います。

少なくとも危機管理において、甘い手立ては酷い結果しか生まないものです。



★ ラジオ丹南FM「県議会 夢通信」

9月21日(土) 午後4時
(再)22日(日) 午前10時

細川かをり県政報告 R1 9月
発行：福井県議会議員 細川かをり
事務所：越前市村国一丁目2-11
TEL・FAX 42-588888

県立大学

細 先般、知人グループを教育博物館に案内したところ、懐かしい校歌のメロディを堪能されるなど、たいへん熱心に見学していただきました。

特に人気だったのが「教室風景のジオラマ」です。椅子に後ろ向きに座っておしゃべりする子、下敷きの静電気で女の子の髪の毛を浮かすいたずらっ子、ビー玉パチンコ飛ばしするやんちゃ坊主などの立体模型を観て、「僕らもこうだった。」とすごく懐かしそうでした。そう、私の周りの地域リーダーの多くは、「やんちゃ坊主、おてんば娘」だったのです。

「人心掌握術」、「積極性・行動性」、「信頼性」、「根性」等地域リーダーに共通するそうした資質は、人の中でもまれて育まれるものです。だからこそ、私より年上の団塊の世代から抜きんでた地域リーダーは恐ろしく強い。p(^.^)q

そうしたことを考えると、人の中でもまれる経験が薄くなる一方で、受験勉強して入試関門をくぐった大学生が、どうやって地域で発揮できるリーダーシップを育むのだろうかと不思議に感じます。詳しく説明を。

県 机上で理論を学ぶだけではなく、学生自らが様々な課題解決に主体的に取り組み、そのために地域づくりに参加したり、地元企業でのインターンシップを経験したり、実践も重視する。

議員指摘のとおり、様々な経験・体験を通し、人の中で揉まれるということを経験したうえで福井を担っていく熱い志を持った人材を育成する狙いを持った学部で、現在学内でカリキュラムなど検討を進めている。

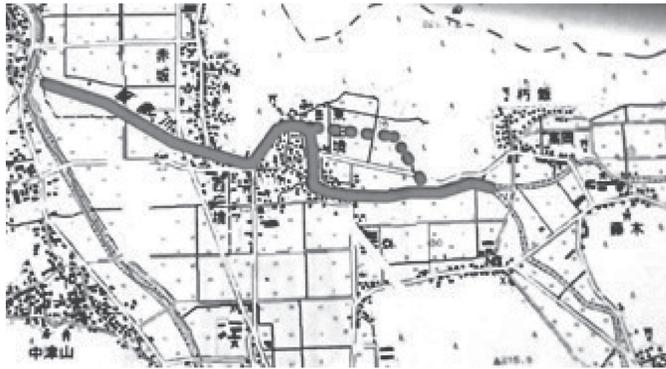


県立大学で「次世代の地域リーダーを育てる学部」を考えていると聞いたので、この時のことを念頭に置いて質問しました。

私の感覚では、子ども時代に大勢で遊ぶ環境を作り、たくましさを育んだ方が効果的。大学だけではなく、幼小中高校時代も通して人づくりを考えていくのなら納得・歓迎するところです。

⑧2019年、予算化\(^o^)/

先の補正予算でようやく新事業採択、
着手予算 5300万円 付きました！
(まずは測量から)



服部川の蛇行部分から、

「小水路を付けて流れを分ける」

ことになりました。測量、地質調査、河道設計などなど、これから具体的に進むこととなります。

今のところ

工事期間 **約20年、約39億円**
の事業となる見通しです。

20年は長いですが、下流から順に拡幅されるので、それに従って上流部の水位も低下することになります。

この先、地元の方々と様々合意形成しながら進められると思いますので、関係各位のさらなるご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

念願であった服部川の改修に
着手する予算が付きました。

もう後戻りなし！

関係の皆様にご心より感謝申し上げます。

④2014年 鞍谷川の工事完了間近に

細川 鞍谷川の拡幅工事後、服部川の改修に進む見通しが立っていない。引き続き、服部川の改修に着手するか。

県 鞍谷川の拡幅工事後に服部川の改修に移行していきたい。ただ、厳しい財政状況の中で、できるだけ早く効果を出せるよう改修方法は検討中。

⑤2016年 鞍谷川の工事完成！

細川 福井豪雨後の12年間、河川改修が上流まで進んでくることを今か今かと待ち望んでいたが、ようやく鯖江市と旧今立町の境目の工事が完成。感謝する。いよいよ被害のひどかった上流部分だ。今後の計画は？

西川知事 鞍谷川の河川整備は、服部川合流点まで完了。鞍谷川の治水安全度が向上し、さらに、その流下能力の向上により、上流部や服部川について、増水時の水位を低下させる効果が得られたと考えている。(ぶこれでは答えになっていないので、その後もしつこく聞きました)

⑥2017年 地元交渉中！

細川 定期的に服部川整備の地元交渉をしているのか、状況を伺う。

県 土木事務所から地元の了解はおおむね得られていると聞いており、これから事業に向けて河川整備計画を変更するための検討に着手している状況。(事業化のためには、河川整備計画の改定が必要です。)

⑦2018年 国の許可！

細川 一日も早い工事着手と完成を望む。工事着手の時期を伺う。

西川知事 地元と調整を重ね、一部の区間を新たな河道としてバイパスする内容に変更することで合意を得た。

その内容を踏まえ、服部川の整備を含む河川整備計画を変更する手続きを進めており、本年5月に有識者の意見を聴取し、住民の皆さんへの説明や市への意見照会を実施し、11月、国に対し内容変更の許可申請を行った。

今後、国からの変更の許可を得て、整備を進めてまいります。

私のリーフレット
服部川です



①2004年7月18日 福井豪雨災害発生



私の服部川物語

②2006年 教員から市議に ⇨ 越前市議会では

細川 河川改修の進み具合を質し、水害対策を要望

建設部長(当時) 服部川は県管理の一級河川で、河川整備計画では「おおむね30年以内に整備をする」という位置づけ。順次整備されて被害の発生は軽減される。

⇨水害後の改良は、残念ながら、鞍谷川と服部川の分岐(新堂町)までの計画でした。下流が広がれば、上流の流れも良くなるという理屈です。しかし私は、「東庄境町付近の大きな蛇行部分の改修をしなくては、流れは良くならない」と、**県との交渉必要**と考えました。

③2011年県議に ⇨ 服部川の改修の必要性を訴える

細川 服部川は、10年に1回程度の洪水に耐えられないままに福井豪雨災害から**8年近くを経過**している。上流は服間小学校区で、約700世帯、2,000人余りが住んでおり、福井豪雨では被害が大きく**死者も出た**。大雨のたびに計画高ぎりぎりまで増水し、住民の方々は**怖い思い**をされている。

服部川の蛇行部分(東庄境町付近)の河道改良が必要だ。速やかに改修計画を立て、住民の方々と協議に入り、鞍谷川から**切れ目なく河川整備**を行うべきだ。

県 河川改修が必要であると認識しているが、下流から進める必要があるため、鞍谷川において、30年に1回程度の降雨に耐えられるような対策を進めているところ。

服部川の改修事業の着手時期については、他の河川の状況も検討する必要がある。また、家屋の移転や農地への影響が考えられるから、地元の理解が得られるように努めてまいります。

⇨改修の必要性は認めたものの、直ぐにやるかはあいまいだと感じました。